

挨拶



来賓挨拶



西村 周三

一般財団法人
医療経済研究・社会保険福祉協会
医療経済研究機構 所長

主催者挨拶



島谷 克義

公益財団法人
ファイザーヘルスリサーチ振興財団
理事長

主催者挨拶

公益財団法人ファイザーヘルスリサーチ振興財団 理事長
島谷 克義

主催者を代表して、一言ご挨拶を申し上げます。

本日は第25回ヘルスリサーチフォーラムおよび平成30年度研究助成金贈呈式にご出席をたまわり、誠にありがとうございます。また、日頃は当財団の事業活動に多大なるご支援・ご協力をたまわり、厚く御礼申し上げます。

本日は、厚生労働省大臣官房厚生科学課長 浅沼 一成 様、一般財団法人医療経済研究・社会保険福祉協会 医療経済研究機構 所長 西村 周三 様、ファイザー株式会社代表取締役社長 原田 明久 様よりご挨拶をいただくことになっております。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

また、今回が本フォーラムの第25回目であることを記念して、特別講演として『超高齢社会の到来と保健医療介護政策の展望』と題して、東京大学高齢社会総合研究機構 特任教授 辻 哲夫 先生からお話をいただくことになっております。座長は永井 良三 先生にお願いをしております。

本日のフォーラムの発表は、ポスターセッションで21題、ホールセッションで21題、計42題で、今までで最多となりました。また、フォーラムに続き平成30年度の研究助成受賞者の発表ならびに助成金の贈呈式が行われます。

選考の経緯につきましては、委員長の永井先生からお話をいただきますが、本年も166件という大変多くのご応募をいただきました。ご応募いただいた皆さまには厚く御礼を申し上げます。この中から、厳しい選考を経て40件の研究が助成対象として採択されました。採択された皆さまには、心よりお喜びを申し上げます。

本年度の助成金の総額規模は5,657万円で、平成4年の発足以来の累計で採択件数が874件、助成金の総額が19億7,374万円となりました。これもひとえに主たる出捐企業であるファイザー株式会社、ならびに、関係団体や個人の皆さまのご尽力のたまものと深く感謝いたしております。

本財団の設立の趣旨は人々のクオリティ・オブ・ライフの向上を目指し、自然科学や社会科学の研究成果を基に、医療の受け手の立場からよりよい社会システムを構築するための方向付けを行うことにあります。

今回のフォーラムのテーマは『人生百年時代のヘルスリサーチ』としております。日本人の平均寿命が、男性が81歳、女性が87歳となり、多くの方々が100年を生きようとされている時代です。メディアでは、人の平均寿命はどこまで延びるのか、115歳なのか、120歳なのかという議論さえ始まっております。しかし、大切なのは、生命と種の寿命の可能性だけではなく、生きている間の健康や福祉が十分なのかというQOLが問われることなのだと思います。そういった観点からもわれわれはヘルスリサーチというコンセ

プトをさらに深めて、人々の幸福に貢献できる活動を進めて参りたいと考えております。
皆さまがたの引き続きのご支援とご協力をお願いして、ご挨拶とさせていただきます。